

二本松青年海外協力隊訓練所

ADATARA

あ だ た ら



JICAボランティア

現地活動レポート

「蜂蜜が繋いだ世界と福島」

2016年度
4次隊

寺田 篤哉さん

(青年海外協力隊) モザンビーク

STORY ストーリー

～地域×JICA二本松～

「海を越えた小児用体重計」

イベントカレンダー

JICA二本松の今後のイベントをチェック！



てらだ 寺田
あつや 篤哉さん

2016年度4次隊

派遣国：モザンビーク
職種：コミュニティ開発

私が今暮らしている国はモザンビークというアフリカ大陸に位置する国で、ポルトガル語を公用語として使っています。日本人にはなかなか馴染みのない国ですが、海産資源に恵まれた気候が穏やかなところですよ。

普段は養蜂農家をモザンビーク人の同僚と巡回し、伝統養蜂・近代養蜂の技術指導や野生のミツバチの捕獲、蜜源植物（蜂蜜の元になる花蜜を所有する植物）の育成をしています。モザンビークに生息しているアフリカミツバチは野性的で警戒心の強いミツバチで、外敵と判断すると物凄い勢いで刺しにかかります。これは現地で聞いた話ですが、牛が大量のミツバチに刺されて死んでしまった事件が起きたそうです。モザンビーク人もミツバチに対してかなり警戒心を持っているので、どんなに暑くても完全装備をして養蜂の仕事をしています。

私が福島県と繋がるきっかけとなったのは東日本大震災の時です。当時私は山梨県で大学生として勉学に励んでいました。簡単なボランティア活動をしました。それよりも福島県に住民票を移して働くことが、自分のできる復興への近道だと思い、大学卒業後の3年間、隊員訓練所のある二本松市に移り住み養蜂場で働きました。初めての地方暮らしで苦労はしましたが、二本松市小浜の方々が息子のよう可愛がってくれました。

そんな中で県立安達東高校農業コースの遠藤智子先生と知り合う機会があり、養蜂を教材として使いたいということで、学校の敷地内でミツバチを飼い始めました。現在までゲストティーチャーのような立場でお手伝いをさせてもらっています。派遣後はメールで情報交換をされていて、高校生が採った蜂蜜をモザンビークに送ってもらうなど交流は継続中です。現地の養蜂家さんと一緒に、モザンビークの蜂蜜と安達東高校の蜂蜜との比較試食会をやり、お互いの養蜂技術や蜂蜜について学びあう良い機会となりました。また、私の一時帰国中も高校で授業をさせてもらい、モザンビークの養蜂の現状を伝えることが出来ました。

毎日辛い事もありますが、福島県で培った技術と知識を活かし、地域住民とミツバチと充実した日々を送っています。いつか安達東高校農業コース出身の生徒にも、養蜂隊員として養蜂の技術を活かし、途上国で活躍してもらえる日がくればと密かに願っています。



現地の養蜂家さん達とワークショップ後の写真



野生群の蜂蜜をその場で試食



現地の野生群の蜂蜜



配属先所長と、同任地の隊員が作った現地蜂蜜の新ラベル

安達東高校の蜂蜜と現地の同僚親子



一時帰国中に安達東高校に授業のお手伝いに行きました！



STORY

ストーリー

～地域×JICA二本松～

このコーナーでは
JICA二本松を応援
いただきましたス
トーリーをご紹介します。

今回は、本宮市の
谷病院から寄贈
いただいた小児用
体重計が海を越
えてモンゴルま
でいったエピソードをお伝え
いたします！



いつもよく使っています！



ボルガン県の中央部に広がる草原

海を越えた小児用体重計

昨年、2017年11月22日に本宮市にある医療法人 慈久会 谷病院の谷良久理事長から、小児用体重計2台を寄贈いただきました。

「ボランティア活動に携わる皆様のお役に立てれば」との思いで寄贈いただいた2台の体重計のうち1台は、JICA二本松訓練所でこれから派遣される隊員のシミュレーションとして活用され、もう1台は...なんと海を越えてモンゴルへ渡っています！モンゴルの首都ウランバートルから西へ約450km行ったボルガン県の保健局へ、福島県出身の大槻美佳隊員の手によって贈られました。その際、日本からモンゴルまでの輸送は福島県青年海外協力隊を支援する会さんからご協力をいただきました。

今年8月9日に、帰国された大槻隊員が谷病院を訪れ、谷理事長と福島県青年海外協力隊を支援する会の須佐会長へ、寄贈いただいたことへのお礼と現地、保健局からの「子供達のために、いただいた体重計を大切にに使わせていただいています。」「いつもよく使っています。」とのコメントと共にお礼品をお届けしました。また実際の使用風景やモンゴルの医療事情を谷理事長と須佐会長へ報告しました。

日頃から多くのご支援・ご協力のもとJICAボランティアは活動を行っております。それは派遣前から、派遣されてから、また帰国後と多岐にわたっております。今後ともJICAボランティアの応援をどうぞよろしくお願いいたします！



同行くださったサラさんと大槻隊員



谷理事長と須佐会長へお礼とご報告に



イベントカレンダー

9月19日(水)～10月31日(水)・・・JICAボランティア写真パネル展@福島県立図書館

10月1日(月)～11月1日(木)・・・2018年度 JICAボランティア秋募集受付期間

10月5日(金)・・・・・・・・・・・・・・2018年度3次隊 入所式

10月27日(土)・・・・・・・・・・・・・・秋の大感謝祭(市民交流イベント)

11月4日(日)・・・・・・・・・・・・・・福幸祭 JICAブース出店

11月7日(水)・・・・・・・・・・・・・・2018年度3次隊 シニア海外ボランティア 修了式

12月12日(水)・・・・・・・・・・・・・・2018年度3次隊 青年海外協力隊 修了式

12月15日(土)・・・・・・・・・・・・・・おいしく学ぶ、世界の暮らし～フィリピン編～

2018年度1次隊



おおさわ あきひろ
大澤 明浩さん

- ①派遣国：ザンビア
- ②職種：小学校教育
- ③出身地：福島市



こうの しんいちろう
孔 晋一朗さん

- ①派遣国：ザンビア
- ②職種：コミュニティ開発
- ③出身地：猪苗代町



たかだ ひろゆき
高田 裕行さん

- ①派遣国：ベナン
- ②職種：小学校教育
- ③出身地：いわき市



やまぐち みほ
山口 美穂さん

- ①派遣国：モンゴル
- ②職種：幼児教育
- ③出身地：いわき市



わたなべ あつゆき
渡辺 敦之さん

- ①派遣国：ガーナ
- ②職種：理科教育
- ③出身地：郡山市



2018年度2次隊



うじいえ みゆう
氏家 美優さん

- ①派遣国：モザンビーク
- ②職種：柔道
- ③出身地：いわき市



かげやま なつこ
影山 夏子さん

- ①派遣国：タンザニア
- ②職種：自動車整備
- ③出身地：須賀川市



とみなが しょうへい
富永 昇平さん

- ①派遣国：キルギス
- ②職種：バスケットボール
- ③出身地：西白河郡矢吹町



よこやま かおり
横山 かおりさん

- ①派遣国：マダガスカル
- ②職種：看護師
- ③出身地：会津若松市



悩みはすべてここで解決！ なんでも相談窓口

JICA二本松訓練所HPでは、JICAボランティアに関する疑問や相談、募集に関する悩み、そして、JICA事業に関わる全ての相談を受け付けています。どんな些細なことでも担当スタッフが丁寧に対応致します！

ぜひ一度ご相談ください！

JICA二本松 なんでも相談窓口



現在も福島県出身者40名が
世界29カ国で活躍中



青年海外協力隊:34名
シニア海外ボランティア:6名

※2018年8月31日現在

公式SNS、ラジオ番組のご案内



公式Facebook いいね!



日々さまざまな情報を更新中！



ON AIR

ラジオ番組

◇ふくしまFM「impress」
毎週火曜日14:00～

◇FM Mot.Com
「世界も、自分も、変えるラジオ」
第2木曜/13:00～14:00
(再放送:第3木曜/13:00～14:00)



発行元

独立行政法人国際協力機構
二本松青年海外協力隊訓練所

〒964-8558 福島県二本松市永田字長坂4-2
Tel:0243-24-3200 Fax:0243-24-3214

◆本誌に関するお問い合わせ
JICA福島デスク 担当:星(ほし) Tel:024-524-1315 Fax:024-524-8308 〒960-8103 福島市舟場町2-1(公財)福島県国際交流協会内